

交通アンケート

巡回バスの要望70%に

路線バスの改善要望(運賃値下げなど)も52%ありました。ボランティアの方々の協力を得て、アンケート分析結果がまとまりました(右表)。

芥見東まちづくり協議会では、この民意を受け、巡回バス(コミバス)などの早期実現へ向けて、岐阜市との連携作業を開始しました。

福祉合同連絡会議(7月1日午後1時~@東公民館一社協主催)でも、コミバスに関し、岐阜市による講演と意見交換会が開かれます。市民の方もどうぞ参加を。 □■

芥見東交通アンケート*の結果から

項目	分析データ(全地区の総計⇒地区差考慮せず)	コメント
家族構成	・60代以上の世帯:60% ・60代以上の1人暮らしと夫婦だけ:48%	・高齢化と独居化は急速に進行中
移動手段	・徒歩:23%(60代以上中心)・自転車:17% ・自動車:82%(60代以上41%)・バス:20%	・クルマ依存強く脱クルマ策急ぐ
困窮度	・困っている:6%・困らず:31%(60代以上15%) ・5年先までに困る:29%・10年先〃:50%	・現状は気力・体力があるが、困る時がすぐに来る
解決の拠り所	・自己責任で解決:37%(周りに迷惑かけず) ・地域全体で解決:56%・深刻でない:3%	・物心両面から地域で支える要あり
欲しい仕組み	・タクシー共同利用:11%・路線バスの改善:52%(運賃値下げなど) ・コミバスの導入:70%	・コミバス要望大 ・路線バスと抱き合わせて改革を

* 07.2~3月自治会加入全世帯に対し実施し、1250世帯から回答した(50%)。

防災訓練 雨でも地震はやってくる!

北山・東山両支部では、約140名が北山公園に集まり、地震で停電になった想定で、非常用発電機の操作訓練を芥見消防団員の指導により行い、老若男女の自治会員が積極的に操作を教わりました。

地域全体では、雨天にもかかわらず770名が参加。諸作業の指示・情報がうまく流れたか、といった反省も組織や個人にとって貴重な訓練になりました。ご指導いただいた皆さん、雨中ありがとうございました。

——自治会連合会理事・大平 勝利

救護の訓練

——赤十字奉仕団芥見東分団・松岡 秀子さん

当日は、生憎の雨になり、桜台地区は、急遽、芥見東小へ移動して、体育館での訓練となりましたが、多数の参加者があり、心強く感じました。

日赤奉仕団は、怪我をされた方に対する応急処置で三角巾による頭部と手の場合と、担架による搬送を実施しましたが、一般の方にも進んで体験に応じていただきました。

ひとつ残念ことは、皆様が身一つの参加であったことで、今災害が起きたらどうするのかな?と懸念しました。自分自身を守るための訓練ですから、最少限の「非常用品」を携帯されたら良かったと思いました。年に一度、防災訓練の機会に今一度再確認と日頃の習慣が必要だと気づかされました。

〔編集注〕松岡さんは、当日リュック一杯、非常食(2~3日分)などを詰めて訓練に臨まれました。反省!

非常用発電機の操作訓練

——桐ヶ丘1丁目自治会長・北川 和美さん(写真も)
桐ヶ丘支部、桐ヶ丘市営支部、コモンヒルズ北山支部が合同で桐ヶ丘公園で訓練を行った。あいにくの雨にもかかわらず各支部と子供会から120名という多くの参加があった。



6月10日@桐ヶ丘公園

非常用発電機の操作は、雨のため3機を1機に減らし、消防団員の指導のもと3名が交代で操作を行った。私も操作をさせてもらったが、昔触ったことがある耕運機(トラクター)の起動方法と良く似ていた。激しい雨の中でもスムーズに起動しホッとした。

雨により、せっかく参加していただいた多くの方に操作してもらえなかったのは残念だった。また、災害は風雨に係わらず発生するので雨天を想定したテント等の準備も今後は必要ではないだろうか。 □■

中学生と語る会

が青少年育成市民会議主催で開かれ、地域行事への参加、安全などについて活発に意見が交されました。〔吉澤〕



発表する東中生代表
6月23日

ふれあいサロン 住民の交流を深める活動

——北山支部長・秋松 旭さん(写真も)



北山公民館での「ふれあいサロン」に参加した。まず、東部ふれあい健康センター保健師・遠藤さんによる全員の血圧測定に始まり、同氏から「暑さに負けない健康術」の話の聞き、軽い筋肉体操と、元気に頭の体操をした。

続いて、芥見交番の田口交番長から「身近な犯罪の手口と対処法」、「歩行者と自転車の安全通行」についてお話があり、しばし歓談。最後に、皆で「みかんの花咲く丘」を大きな声で歌って解散した。7月は、「心の健康づくり」「草花で築づくり」が計画されている。

岐阜市社協の地域活動コーディネータも見学にみえ、民生委員、日赤奉仕団、ボランティアの皆さんの見事な会の運営、年間の充実した計画に感心しておられた。こうした集いや「歩け歩け大会」などを通して地域の交流が益々盛んになることを願っている。 □■

東小 トイレ清掃ボランティアに参加して

——芥見東小 児童保護者・高木 健一さん

6月のある土曜、我が子と東小のトイレ磨きをしました。(社)岐阜青年会議所協働推進事業のスタッフ60名による指導で、児童73名、先生31名と保護者41名が南舎から北舎まで分担して、“素手”で磨きました。

正直、便器に手を突っ込むのは躊躇しましたが、それは初めだけで、サンドメッシュでカー一杯こすり、永年の汚れが落ちていくと、嬉しくてどんどん顔が便器に近づいていきました。子どもたちも自分が磨いた便器を、「こんなにキレイになった」と、楽しく誇らしげでした。

便器を磨いて自分の心も磨けたと思います。また、その後のディスカッションで、物を大切にすること、人への



感謝、思いやりの気持ちを学びました。「気づきのある東っ子掃除をしよう！」という東小児童の約束をこれからも保護者として応援していきたいです。 □■



モラル 障害者用Pが広いのはなぜ？

——柏台支部の方より

今はほとんどの駐車場に障害者用スペースが確保されるようになりました。先日、マーケットに行くと、障害者の駐車スペースに、優良運転者章を3個も飾ってある立派な車が止めてありました。車には、障害者用のステッカーは見当たりませんでした。よく見る光景です。

広めのスペースは、決して障害者を甘やかすのではなく、意味があるのです。私も障害を持つ方と接し、少し分ったのですが、不自由な方は、車のドアを一杯に開けないと、乗り降りが大変。だから広くしてあるのです。

元気な方は、少し離れた所に駐車して歩くのは何でもないこと。健康に良いし。自分のことだけでなく、少し視野を広めれば清々しい気分になれるのでは？ □■



健康づくり 北山恒例の“歩け歩け大会”

——北山第4自治会長・増田 弘夫さん(写真も)

思い思いのトレーニング姿で北山公園に集まった人160人。今日は北山の歩け歩け大会です。

準備体操で身体をほぐし、光輪公園までの2.5キロに挑戦します。体育委員を先頭に、若葉萌える山田川沿いを歩み、白い土塀と土蔵、せせらぎと、ロマン漂う大洞の町に入り、願成寺の仁王さまを拝みながら、光輪公園に全員が無事登り着きました。

公園では、親しい者同士、日陰に集まり、配られた弁当とお茶に舌鼓を打ちながら町内のことや自治会活動などに話が弾み、日ごろ薄れがちなコミュニケーションを補いました。有意義なひと時でした。



ベビーカーの他、車椅子での参加もあり、家族や隣人が手を差し伸べる、心温まる雰囲気、これからも健康と思いやりの活動を続けていきたいと願いました。 □■

温暖化 省エネできれば電動自転車！？

その他、パスカード、省エネ電球などが当たります：

- ・対象；8月分電気使用量 ・応募期限：7月31日(火)
- ・お問合せ/申込みは、住所・氏名・電話番号と共に：

⇒岐阜市地球温暖化対策推進委員会事務局へ
《電話：265-4141(内線 6403) ファクス：264-7119》

〔案内〕連合会では、消防団・水防団へ消水防協力費を支出していますが(本紙5月号参照)、両団体の決算・予算書は、各地区の支部長のところでご覧になれます。